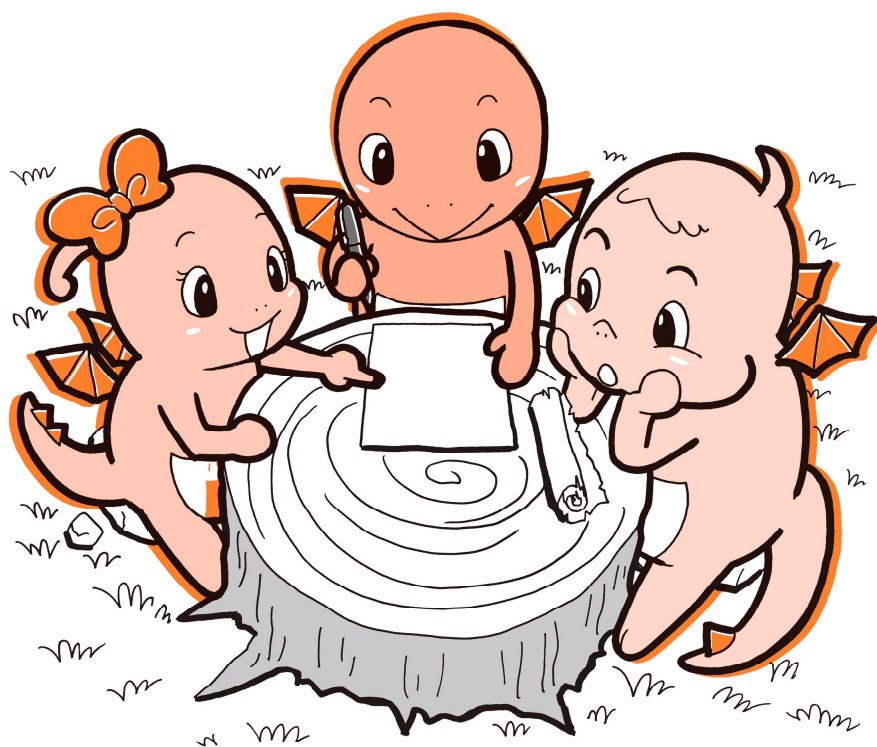


足立区環境教育基本方針・実施計画

～平成23年度実績報告～



平成24年10月



足立区

足立区環境教育基本方針・実施計画は・・・

個人、地域、学校、団体、事業者等のあらゆる主体が、自主的に環境教育・環境保全活動を推進するための基本方針として、以下の6項目を定め、あらゆる主体が協働して活動に取り組むためにそれぞれの役割と取り組みの方向性を示しています。

- 1 環境情報の整備活用
- 2 人づくりとその活用
- 3 活動の場・拠点づくりとその活用
- 4 学校・事業者との協働による取り組みの推進
- 5 協働取り組みを継続・活性化するための仕組みづくり
- 6 共通基盤となる条件整備の推進

以上の6項目にかかる多くの取組みの中で、特に代表的で重要な施策を「施策進捗指標」とし、「施策進捗指標一覧」(P8～P12)の実績報告を踏まえ、点検・評価しました。

また、個々の施策推進の成果として総合的に表すことのできる「成果指標」においても、以下のとおり点検・評価しました。

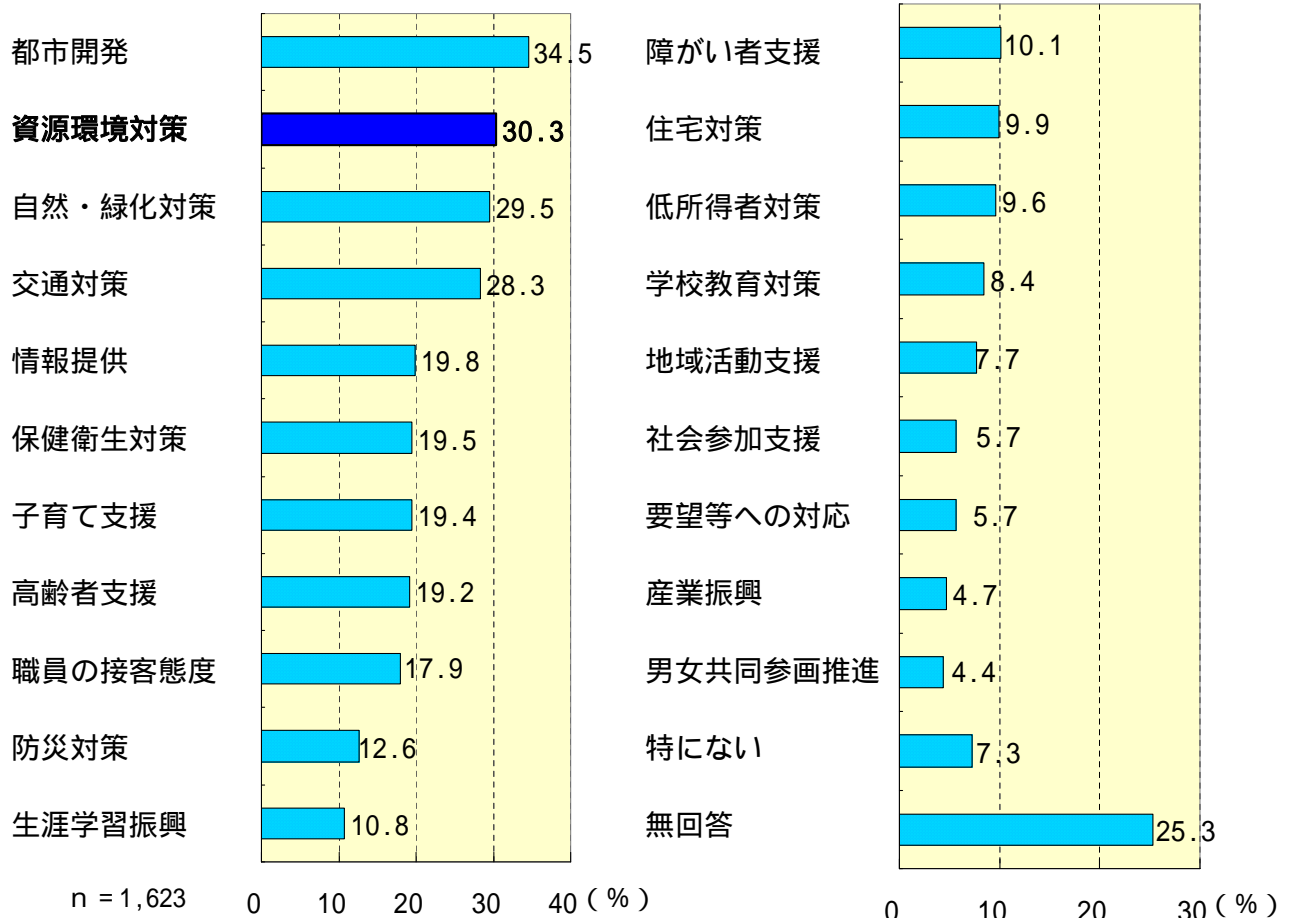
1 環境情報の整備活用

成果指標	担当課	実績値			目標値 (H25)	単位 「/年」以外 は累計値
		H21	H22	H23		
環境情報に対する区民等の満足度 〔数値特定方法〕 区の世論調査(無作為3,000人)、 あるいは区政モニターアンケート (一般公募200人)で把握する。	環境政策課 区政情報課					%

近年の世論調査・区政モニターアンケートでは「環境情報に対する区民等の満足度」は調査していませんが、平成23年度(第40回)の足立区政に関する世論調査における「以前と比べてよくなったと思う区の取り組み」では、「資源環境対策(省エネルギー・ごみ処理・リサイクルなど)」が30.3%で20項目中第2位と上位に位置しており、これまでの環境施策が一定程度、区民の方々に評価されていることがうかがえます。

以前と比べてよくなったと思う区の取り組み

平成 23 年度(第 40 回)
足立区政に関する世論調査



成果指標	担当課	実績値			目標値 (H25)	単位 「/年」以外 は累計値
		H21	H22	H23		
インターネット環境 ホームページアクセス件数 〔数値特定方法〕 今後、重点プロジェクトの一つ として整備するデータベースへ のアクセス件数とする。 【環境基本計画指標 30】	環境 政策課	554,126	901,496	1,427,239	800,000	件/年

インターネット環境の急速な普及や、環境問題に対する意識の高まりを背景に、各種施策が区民の関心を集め、大幅に実績値を伸ばしています。

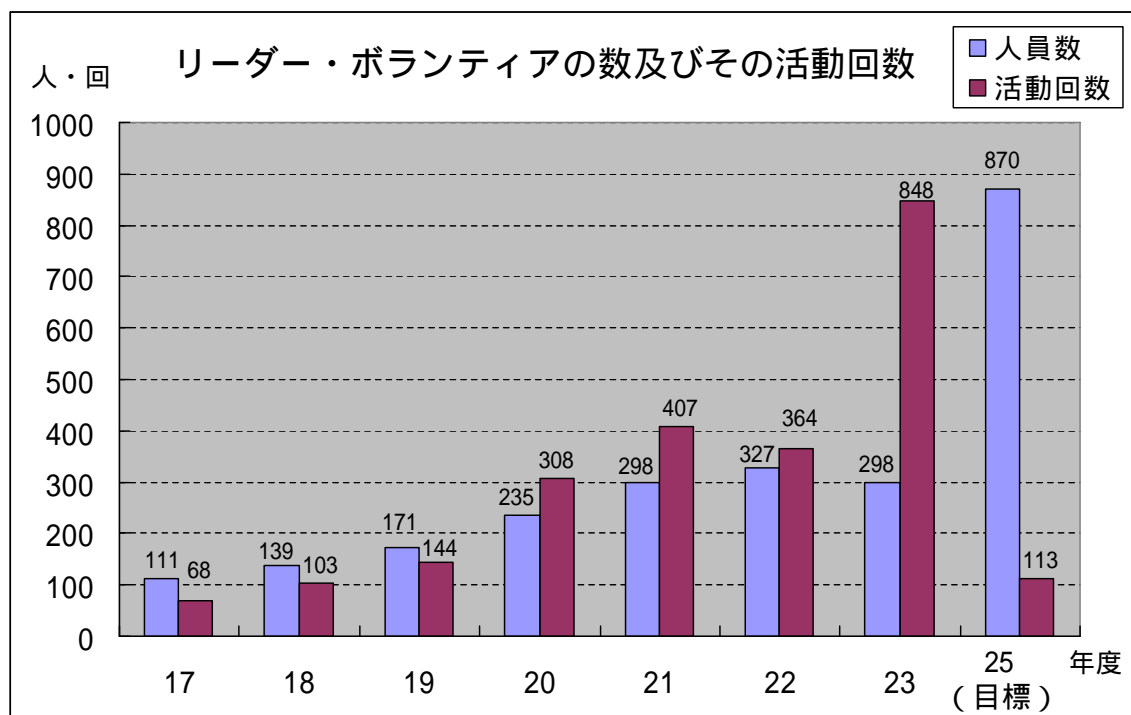
2 人づくりとその活用

成果指標	担当課	実績値			目標値 (H25)	単位 「/年」以外 は累計値
		H21	H22	H23		
環境保全活動・環境教育に資する人材として、区が育成した人数及び登録した人数 〔数値特定方法〕 重点プロジェクトの一つとして構築する人材育成・認定制度に基づく育成人数、登録人数とする。【環境教育基本方針・実施計画施策進捗指標 4-2-15】	環境保全課 まちづくり課 みどり事業課 産業振興課	298	327	298	870	人

環境保全活動を推進するため、効果的な活動を行うことができる主体、専門的知識を有する主体を育成、活用していきます。

今後は、単に数を増やすということではなく、各主体の目的を再確認し、質の向上を図ります。

(野鳥モニター、自然観察リーダー、まちづくり推進委員、公園ボランティア、カブトムシ・チョウの飼育ボランティア、農業ボランティア、緑の協力員など)



成果指標	担当課	実績値			目標値 (H25)	単位 「/年」以外 は累計値
		H21	H22	H23		
環境保全活動・環境教育に資する講座、プログラムの件数 〔数値特定方法〕 重点プロジェクトの一つとして情報提供するあだち環境教育プログラムのプログラム数を用いる。【環境教育基本方針・実施計画施策進捗指標 4-2-11】	環境政策課	44	44	36	60	件

区民一人ひとりに環境意識を普及・浸透させるため、学校・家庭・地域・職場など様々な場において環境教育を推進することが大切です。

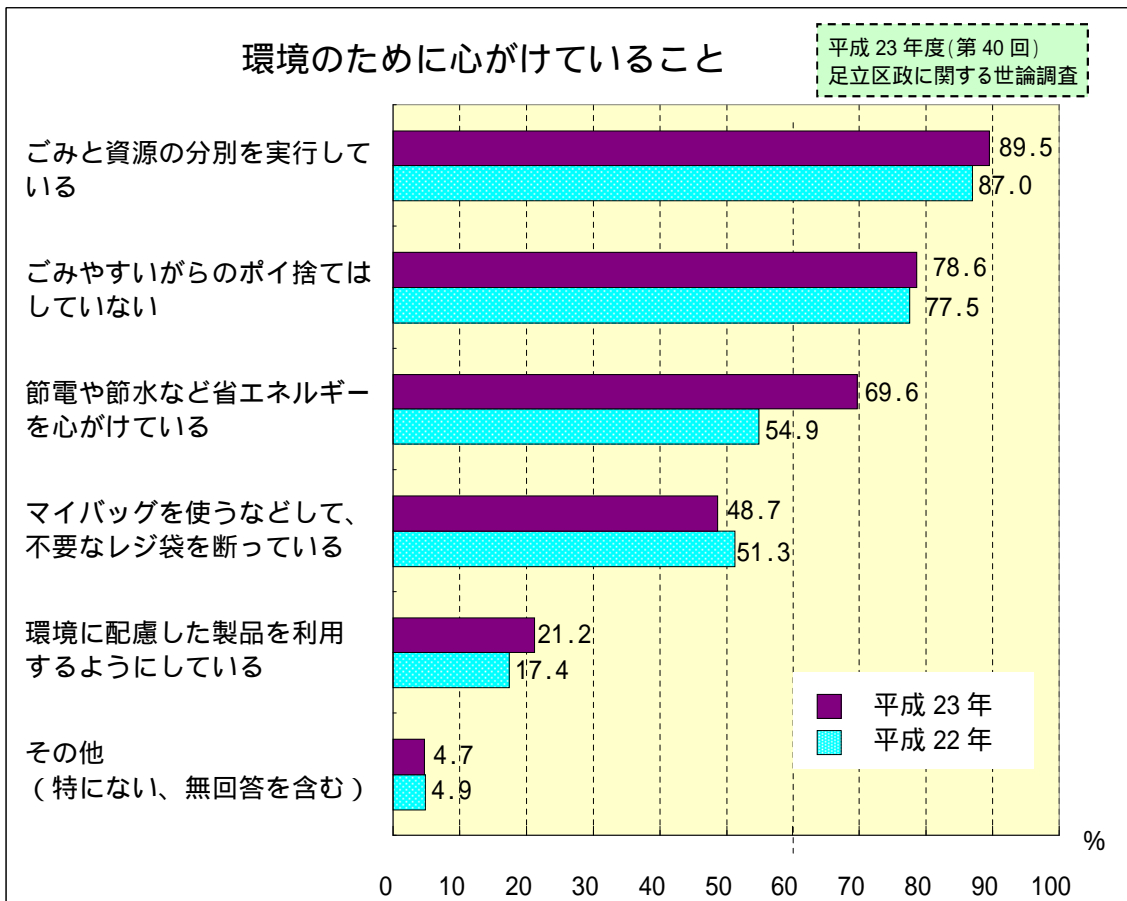
職場における環境教育の推進として、環境情報データベースにおいて事業者向けのコンテンツを提供していますが、その件数は伸びていません。今後は、事業者ニーズの把握に努め、より実効性のあるプログラムを検討します。

成果指標	担当課	実績値			目標値 (H25)	単位 「/年」以外 は累計値
		H21	H22	H23		
年間に体験型・実践型の環境保全活動・環境教育に取り組んだ区民割合 〔数値特定方法〕 区の世論調査（無作為 3,000 人）、あるいは区政モニターアンケート（一般公募 200 人）で把握する。	環境保全課 区政情報課					%

近年の世論調査・区政モニターアンケートでは「年間に体験型・実践型の環境保全活動・環境教育に取り組んだ区民割合」は調査していませんが、平成 23 年度（第 40 回）の足立区政に関する世論調査における「環境のために心がけていること」では、「ごみと資源の分別を実行している」が 89.5%、「節水や節電など省エネルギーを心がけている」が 69.6%など、区民の方々は日常生活において何かしらの環境意識を持っていることがうかがえます。

平成 22 年と平成 23 年の各項目数値を比較すると、概ね数ポイント高くなっています。特に「節水や節電など省エネルギーを心がけている」は前年より 14.7 ポイントも高くなっています。これは、東日本大震災以降の電力不足を契機に、節電などの意識をはじめ、これまでの生活様式が見直されるようになったからと思われます。

今後も環境行動が継続していくように、引き続き環境教育・啓発活動を推進していく必要があります。



3 活動の場・拠点づくりとその活用

成果指標	担当課	実績値			目標値 (H25)	単位 「/年」以外 は累計値
		H21	H22	H23		
環境保全活動・環境教育に資する場・拠点の数 〔数値特定方法〕 環境保全活動・環境教育に資する場・拠点の数を把握する。【環境基本計画指標 21、23、37、環境教育基本方針・実施計画施策進捗指標 4-3-4、4-3-5、あだち再生館、おもちゃトレードセンター、生物園、都市農業公園、桑袋ビオトープ公園、荒川ビジターセンター】	学校施設課 公園管理課 みどり推進課 まちづくり課	205	207	218	227	箇所

足立区には、あだち再生館、おもちゃトレードセンター、生物園、都市農業公園、桑袋ビオトープ公園、荒川ビジターセンターなど環境教育の拠点となりうる施設が充実しています。学校も環境教育に取り組む地域拠点としての役割を担っています。こうした拠点の効果的な活用と、新たな拠点整備を進めていくことが大切です。

公園を「地域の庭」とみなし、地域の皆さんが清掃や草刈などを行う「自主管理公園」や、ソーラーパネルの設置、屋上緑化を施した「西新井小学校」の改築などは順調に進行しています。一方、学校ビオトープの維持管理や樹木の保存などは、今後、有効な方策を検討します。

4 学校・事業者との協働による取り組みの推進

成果指標	担当課	実績値			目標値 (H25)	単位 「/年」以外 は累計値
		H21	H22	H23		
学校と、地域・事業者・団体等との協働や連携による、環境保全活動・環境教育の取り組み校数 〔数値特定方法〕 土曜事業及び開かれた学校づくり協議会で環境関連事業を実施した校数とする。【環境教育基本方針・実施計画施策進捗指標 4-4-2】	教育政策課	12	12	21	36	校

P T A や地域団体と学校の協働による「土曜事業」では、農園活動を中心に、緑・水環境の清掃・整備活動などの環境保全活動に取り組んでいます。

平成23年度からは土曜事業だけでなく、開かれた学校づくり協議会活動での環境関連取り組み学校数も指標に加えています。

成果指標	担当課	実績値			目標値 (H25)	単位 「/年」以外 は累計値
		H21	H22	H23		
エコネット参加事業所数 〔数値特定方法〕 重点プロジェクトの一つとして構築するエコネットの仕組みへの参加事業所数を把握する。工業事業所、商店のほか、農家も含む。【環境教育基本方針・実施計画施策進捗指標 4-2-19、4-4-4、4-4-5】	環境政策課 産業振興課	141	146	159	265	事業所

エコファーマー(持続性の高い農業生産方式、環境保全型農業を導入した農業者)や、Rのお店(ごみを減らすための行動やリサイクル活動などに積極的に取り組んでいる小売店)などは、その制度の周知を強化する必要があります。

重点プロジェクトのひとつでもあるエコネット事業は、ペットボトル回収事業、循環型食品リサイクル事業、おもちゃトレード事業、環境家計簿普及事業と、それぞれ拡大展開しており、地域を結ぶエコネットの広域実施に向け順調に推進されています。

5 協働取り組みを継続・活性化するための仕組み





成果指標	担当課	実績値			目標値 (H25)	単位 「/年」以外 は累計値
		H21	H22	H23		
環境保全活動・環境教育に係る 協働事業実施数 〔数値特定方法〕 基本計画の指標「協働事業実施数」の内数 として、環境保全活動・環境教育に係る協 働事業の実施数を把握する。【環境教育基 本方針・実施計画施策進捗指標 4-5-1】	地域調整課	25			16	事業

足立区基本計画においては、「協働」を経営理念とし、「あだち協働ガイドライン」の発行、ガイドラインに基づく協働の推進に取り組んでいます。

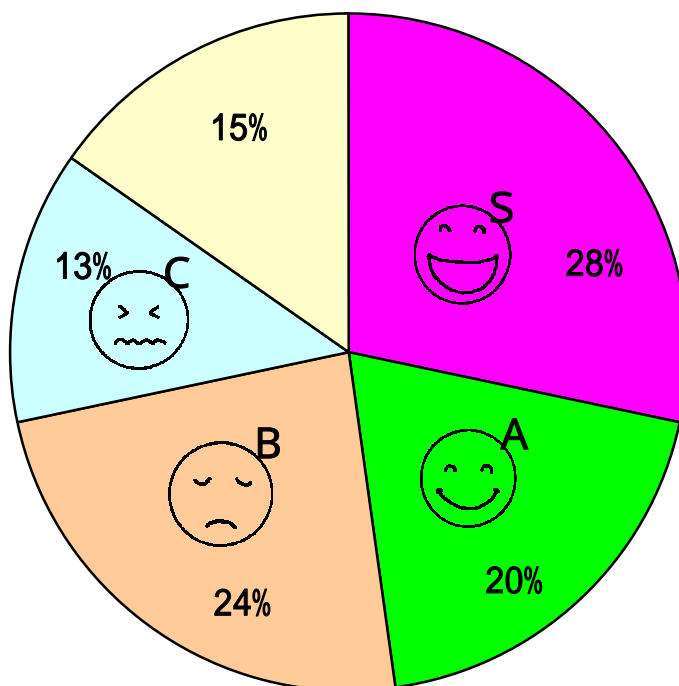
このうち、環境関連の協働事業数は平成21年度実績で25事業を数え（協働実態調査廃止により、平成22年度及び23年度の実績値は未調査）、町会・自治会や商店街などの区民団体、ボランティア、民間事業所やその関連団体、また、大学をはじめ学校やNPOなど、様々な協働主体と事業展開しています。今後も、環境関連事業の充実を図っていきます。

足立区環境教育基本方針・実施計画 施策進捗指標一覧(46指標)

平成23年度の進捗状況 評価別指標数

評価		指標数
	すでに目標を達成している指標	13 (12)
	着実に目標達成に向かっている指標	9 (9)
	目標に近づいているが、現状では目標達成が困難と思われ、取り組みの強化が必要な指標	11 (11)
	数値が目標に近づいていない指標	6 (5)
	その他(事業・指標の見直しなど)	7 (9)
	合 計	46 (46)

()内は
平成22年度の指標数



環境教育基本方針・実施計画 施策進捗指標一覧 評価別

評価別に指標をまとめました。目標に数値が近づいていない、目標達成が現状では困難と評価された指標については、その問題点を精査し、効果的に成果をあげられるよう取り組んでいく必要があります。各指標のこれまでの実績の推移、取り組みの進捗状況とその評価については、次頁以降の「環境教育基本方針・実施計画施策進捗指標一覧 分野別」をご覧ください。

指標	指標	23年度 数値	単位 「/年」以外 は累計値	目標値	
				年度	数値
4-1-2	ケーブルテレビ、あだちシティビジョン活用による環境関連情報の発信回数	8,818	回/年	25	3,200
4-1-3	拠点施設のホームページアクセス件数	122,172	件/年	25	106,000
4-2-1	環境対策施設の導入数	88	件	25	70
4-2-3	総合的な学習の時間において環境教育を実施した校数	88	校/年	25	85
4-2-4	キッズISOプログラムの年間実践者数	2,168	人	25	1,300
4-2-7	住宅設備のエコ化支援件数	3,461	件	25	1,350
4-2-16	育成されたリーダー、ボランティア等の活動回数	878	件/年	25	113
4-3-1	主要な拠点において環境教育プログラムを活用したイベント参加者数	63,532	人	25	18,400
4-3-3	自然教室・臨海・林間学園実施校数	延181	校/年	25	延253
4-4-6	地域で自主的に実施している美化活動の数	55	回	25	55
4-4-7	農業体験学習参加数	57	校・園/年	25	50
4-4-10	イベント等による地場野菜の供給量	25,465	点	25	20,000
4-5-4	PRを行ったNPO・団体数	24	件/年	25	8

指標	指標	23年度 数値	単位 「/年」以外 は累計値	目標値	
				年度	数値
4-2-2	環境保全活動・環境教育の研修実施回数	2	回/年	25	3
4-2-8	あだち"学び"応援隊等環境関連講座開催数	8	回/年	25	10
4-2-9	緑の協定数	29	件	25	31
4-2-13	職員のボランティア清掃等の参加者数	438	人/年	25	480
4-2-20	メールマガジン発行回数	21	回/年	25	24
4-3-2	公園等の管理・運営への区民参画割合	43	%/年	25	45
4-3-5	学校の改築数	4	校	25	6
4-4-2	土曜事業での環境関連取り組み学校数	21	校	25	36
4-4-9	農業就業体験年間参加者数	45	人	25	1

指標	指標	23年度 数値	単位 「/年」以外 は累計値	目標値	
				年度	数値
4-2-5	環境教育に関する支援を受けた教職員数	178	人	25	-
4-2-18	顕彰された事業者数		件	25	-
4-2-23	専門家による相談件数		件	25	15
4-3-4	未利用地の環境保全的な活用箇所数	4	箇所	25	9
4-5-1	環境関連協働事業数		件/年	25	16
4-5-2	意見交換会開催数		回/年	25	2
4-5-5	提案型協働事業採用件数		件/年	25	-

指標	指標	23年度 数値	単位 「/年」以外 は累計値	目標値	
				年度	数値
4-1-1	作成された環境保全活動、環境教育プログラム数	63	件	25	100
4-2-12	ISO14001、エコアクション21導入セミナー開催回数	1	回/年	25	3
4-2-17	コーディネート能力向上のために、NPO・団体に対する育成・支援を行った件数	8	件	25	-
4-2-21	緑化計画書提出割合	88	%/年	25	100
4-2-22	資源回収団体による資源回収量	14,587	t(ト)/年	25	15,500
4-4-1	花いっぱい運動に取り組んでいる主体数(学校編)	46	件	25	68
4-4-3	事業所の見学回数	27	校/年	25	45
4-4-4	「Rのお店」登録店舗数	101	店	25	150
4-4-5	マイバック運動実施店舗数	53	店	25	100
4-4-8	農業ボランティア派遣人数	1,008	人	25	延1,300
4-5-3	顕彰を受けた主体数	8	件	25	11

指標	指標	23年度 数値	単位 「/年」以外 は累計値	目標値	
				年度	数値
4-2-6	学習ツールの配布数	3,711	件	25	30,000
4-2-10	環境啓発講座への参加者数	26	人/年	25	300
4-2-11	事業者への環境保全活動、環境教育プログラムの提供件数	36	件	25	-
4-2-14	環境をテーマとした研修実施回数	1	回	25	5
4-2-15	育成されたリーダー、ボランティアの数	298	人	25	870
4-2-19	エコファーマー認定農家数	5	戸	25	15

環境教育基本方針・実施計画 施策進捗指標一覧 分野別

基本方針	指標	指 標	単位 「/年」 以外は 累計値	環境教育基本 方針に掲載さ れている数字		参考				23年度 数値	目標値		23年度 実績 評価	進捗状況・今後の見通し
				年度	数値	19年度 数値	20年度 数値	21年度 数値	22年度 数値		年度	数値		
4 - 1 環境情報の 整備・活用	4-1-1	作成された環境保全活動、 環境教育プログラム数	件	17	-	67	68	68	68	63	25	100		一部プログラムをあだち広報の個別ページに入れ込んだため実績は減少した。今後も実効性のあるプログラムを提示していく。(指標は足立区環境情報データベースに掲載されているもので算出)
	4-1-2	ケーブルテレビ、あだち シティビジョン活用による 環境関連情報の発信回数	回/年	17	146	686	2,634	3,563	3,017	8,818	25	3,000 (修正目標 3,200)		H23年度は環境保全課で作成した「足立の野鳥」を6/14～3/31まで放映したため前年度を大きく上回った。その他にも区広報番組で作成した環境に関するコンテンツを放映したことも放映回数の増加につながった。しかし、24年度は「足立の野鳥」の放映が終了となったので放映回数の減少が予測されるが、目標値の放映回数は達成出来るようコンテンツの作成や放映素材提供の呼びかけに努めていく。
	4-1-3	拠点施設のホームページ アクセス件数	件/年	16	52,336	154,414	96,783	102,184	117,421	122,172	25	106,000		生物園79,259、桑袋ビオトープ公園11,068、 荒川ビジターセンター9,479、都市農業公園22,366
4 - 2 人づくりと その活用	4-2-1	環境対策施設の導入数	件	17	42	48	50	71	84	88	25	70		西新井小の改築に伴い、太陽光発電や屋上緑化などを実施した。今後も施設更新事業に併せて環境対策設備の導入を図っていく。
	4-2-2	環境保全活動・環境教育の 研修実施回数	回/年	17	-	1	2	2	2	2	25	3		研修会の参加者の評価は高い。より効果的な研修となるように充実を図る。
	4-2-3	総合的な学習の時間におい て環境教育を実施した校数	校/年	17	73	92	93	83	87	88	25	85		環境への関心は高く、環境教育を取り入れる学校の割合は高い。継続して働きかける。
	4-2-4	キッズISOプログラムの 年間実践者数	人/年	16	461	929	1,433	979	1,312	2,168	25	1,300		実践者数は目標を上回った。今後も参加者の増加を目指していく。
	4-2-5	NPO・団体のコーディネート によって環境教育に関する 支援を受けた教職員数	人	17	-	178	178	178	178	178	25	-		21年度廃止済み
	4-2-6	学習ツールの配布数	部	17	-	864	2,428	2,579	2,796	3,711	25	30,000		24年度に実施する環境基本計画の見直しの中で目標値について検討、修正する。
	4-2-7	住宅設備のエコ化支援件数	件	16	355	1,241	1,488	2,192	2,853	3,461	25	1,350		毎年概ね600件で推移しており、すでに目標を大きく上回っている。今後の見直しの中で目標の修正を行っていく。(H21年数値は2193 2192に訂正)
	4-2-8	あだち"学び"応援隊等 環境関連講座開催数	回/年	17	6	7	6	14	5	8	25	10		(地域文化課)前年と比較すると横ばいであった。今後も「学び応援隊」の講座案内の改良や配付先の見直し、ウェブの活用により積極的にPRをしていく。 (環境政策課)実施数が減少しているため、内容や実施方法を再検討するとともに、引き続き積極的なPRを行っていく。
	4-2-9	緑の協定数	件	17	23	24	21	21	26	29	25	31		前年に比べて増加している。今後も目標達成に向け推進していく。
	4-2-10	環境啓発講座への参加者 数	人/年	16	200	146	67	85	73	26	25	300		予定通り1回の実施で数値は低位である。内容が講座型から体験型プログラムへ移行し、啓発イベントにおける体験プログラムとの差異が見えにくくなっている。24年度は、カラスなどの迷惑動物をテーマとした野生生物の生態講座を実施する予定である。
	4-2-11	事業者への環境保全活動、 環境教育プログラムの提供 件数	件	17	-	39	44	44	44	36	25	-		一部プログラムをあだち広報の個別ページに入れ込んだため実績は減少した。今後も実効性のあるプログラムを提示していく。(指標は足立区環境情報データベースに掲載されているもので算出)
	4-2-12	ISO14001、エコアクション21 導入セミナー開催回数	回/年	17	1	0	2	2	1	1	25	3		エコアクション21認証取得セミナー(6回/年)の第1回目として導入セミナーを実施する。
	4-2-13	区職員のボランティア清掃 等への参加者数	人/年	16	420	352	414	418	425	438	25	480		参加者数は若干増加した。今後も積極的な参加を呼びかけていく。

環境教育基本方針・実施計画 施策進捗指標一覧 分野別

基本方針	指標	指 標	単位 「/年」 以外は 累計値	環境教育基本 方針に掲載さ れている数字	参考				23年度 数値	目標値		23年度 実績 評価	進捗状況・今後の見通し	
					年度 数値	19年度 数値	20年度 数値	21年度 数値		22年度 数値	年度			数値
4 - 2 人づくりと その活用	4-2-14	環境をテーマとした研修 実施回数	回	17	-	1	1	1	1	1	25	5		温暖化対策推進員等を対象に環境講演会を行っている(庁舎管理課主催)。年1回程度の実施が現状である。
	4-2-15	育成されたリーダー、 ボランティアの数	人	17	111	171	235	298	327	298	25	870		(環境保全課)63 今までに20名が登録しているが、健康問題や仕事の都合で活動できないリーダーがいたため、23年度に活動継続の意向調査を実施した。その結果3名が登録解除した。今後は地域活動を促すため、リーダーのグループ化とフォローアップを実施する。野鳥モニターは2名減の36名。水モニターは増減無しの10名(23年度廃止) (みどり事業課)95 緑の協力員12、佐野いこいの森2、生物園42、桑袋ピオトープ公園7、荒川ビジターセンター15、都市農業公園17 (まちづくり課)25 まちづくりカウンセラーの人数25名は23年度と同様。組織体制を見直し、23年度に改選を行った。意欲のある方を人選し、取組みを強化した。 (産業振興課)115(11人増加)
	4-2-16	育成されたリーダー、 ボランティア等の活動回数	件/年	16	38	144	308	407	364	878	25	113		(環境保全課)22 足立区主催の啓発事業への協力は例年通りであったが、リーダーがグループで保育園の自然観察会を通年で指導するなど成果が上がり始めている。今後は、地域から直接、指導依頼を受け対応できるスキルの取得のための支援を行う。 (みどり事業課)505 緑の協力員24、佐野いこいの森30、生物園330、桑袋ピオトープ公園23、荒川ビジターセンター32、都市農業公園66 (産業振興課)351 (まちづくり課)0
	4-2-17	コーディネート能力向上の ために、NPO・団体に対する 育成・支援を行った件数	件	17	-	5	6	7	7	8	25	-		区民環境フォーラム見学会を実施した。年1回程度の実施である。
	4-2-18	顕彰された事業者数	事業者	17	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	25	-		事業の実施予定なし。条例に基づく適正管理化学物質使用量の報告書を提出した事業場に対してはステッカーを配布するなどして顕彰している。
	4-2-19	エコファーマー認定農家数	戸	17	0	5	5	5	5	5	25	15		東京都の認定制度である。23年度に3名が更新、1名が新規申請を行った。認定は24、4、1付となる。
	4-2-20	メールマガジン発行回数	回/年	17	1	16	19	22	26	21	25	24		特別号の発行など登録者に興味を持ってもらえるようタイムリーに情報を発信した。今後も目標を達成できるように区の動向を発信していく。
	4-2-21	緑化計画書提出割合	%/年	17	80	91	92	93	92	88	25	100		ほぼ横ばいの状況が続いていたが、平成23年度は4ポイント減少した。建築申請に係る情報の収集と指導の徹底を図る。
	4-2-22	資源回収団体による資源 回収量	t(ト)/年	16	17,059	16,528	16,005	14,927	14,973	14,587	25	15,500		団体登録数は増加しているが、資源回収量は減っている。これは新聞・雑誌購読者の減少など古紙回収量の減少によるものである。今後は現状に即した目標値への修正を検討する。
	4-2-23	専門家や実践者による相談 件数	件	17	1	8	9	13	-	-	25	15		協働実態調査を廃止したため、データは未集計である。
4 - 3 活動の場・ 拠点づくり とその活用	4-3-1	主要な拠点において環境教育 プログラムを活用したイ ベント参加者数	人	16	11,596	33,472	37,848	77,829	61,853	63,532	25	18,400		(環境政策課)環境フェア24,000人、環境かるた502人 引続き継続 (みどり事業課)生物園14,082、桑袋ピオトープ公園6,843、荒川ビジターセンター10,126、都市農業公園7,979
	4-3-2	公園等の管理・運営への 区民参画割合	%/年	16	37	40	43	42	43	43	25	45		(公園管理課)目標達成間近。引き続き取組みを推進していく (みどり推進課)横ばいの状況が続いている。設計段階から自主管理制度のPRに努め、目標達成に努める
	4-3-3	自然教室実施校数	校/年	17	延253	延252	延252	延253	延180	延181	25	延179		臨海・林間学園事業の廃止に伴い、指標：自然教室・臨海・林間学園実施校数、目標値：25年度延253校を修正。中学校(37校)では2年生(一部の学校は1年生で実施)、小学校(71校)では5年生・6年生が各1回実施する。
	4-3-4	未利用地の環境保全的な 活用箇所数	箇所	17	5	4	4	5	5	4	25	9		23年度中に1箇所は公園となった。残り4箇所はコミュニティガーデンとして活用中。公園予定地の暫定利用のため24年度以降は廃止予定。

環境教育基本方針・実施計画 施策進捗指標一覧 分野別

基本方針	指標	指 標	単位 「/年」 以外は 累計値	環境教育基本 方針に掲載さ れている数字		参考				23年度 数値	目標値		23年度 実績 評価	進捗状況・今後の見通し
				年 度	数 値	19年度 数値	20年度 数値	21年度 数値	22年度 数値		年 度	数 値		
	4-3-5	学校の改築数	校	17	0	1	1	3	3	4	25	6	😊 ^A	第十中、第十二中、東島根中の改築事業について、平成25年夏に開校予定であり、適正な計画に基づき進行している。
4-4 学校・事業者との協働による取り組みの推進	4-4-1	花いっぱい運動に取り組んでいる主体数(学校編)	件	17	34	38	40	53	45	46	25	68	😞 ^B	新規参加があったものの、辞退する学校もあったため、若干の増加にとどまった。今後も目標へ向けて推進していく。
	4-4-2	土曜事業での環境関連取り組み学校数	校	17	12	13	12	12	12	21	25	36	😊 ^A	23年度実施分からは、土曜事業のみならず、対象を家庭教育部会などを含む、開かれた学校づくり協議会活動全体と指標を拡大した結果、12件から21件に増えた。
	4-4-3	事業所の見学回数	回/年	16	37	32	33	31	35	27	25	45	😞 ^B	企業の協力を得ながら、今後も継続していく。
	4-4-4	「Rのお店」登録店舗数	店	17	73	73	85	85	89	101	25	150	😞 ^B	前年に比べ増加している。引き続き目標達成に向けPRしていく。
	4-4-5	マイバック運動実施店舗数	店	17	51	51	51	51	52	53	25	100	😞 ^B	指標数値は、Rのお店のうち「買い物袋またはかご持参の推奨」をしている店舗数とする。
	4-4-6	地域で自主的に実施している美化活動の数	回	17	23	32	38	42	54	55	25	55	😊 ^S	目標達成したが、今後も継続して取り組んでいく。
	4-4-7	農業体験学習参加数	校・園/年	17	34	47	52	59	53	57	25	50	😊 ^S	福島第一原発事故に起因する放射能汚染の懸念があったが、参加校(園)は前年度を上回り、目標を達成している。
	4-4-8	農業ボランティア派遣人数	人	17	延236	延716	延902	延1,199	999	延1,008	25	延1,300	😞 ^B	猛暑の影響で、派遣依頼は昨年度並で推移した。
	4-4-9	農業就業体験参加者数	人/年	17	未把握	48	46	47	51	45	25	50	😊 ^A	福島第一原発事故に起因する放射能汚染の懸念から、参加者数は前年度を若干下回ったが、概ね順調に推移している。
	4-4-10	イベント等による地場野菜の供給量	点	17	11,276	22,146	21,796	17,563	23,912	25,465	25	20,000	😊 ^S	イベントや直売会への農家の積極的な参加により、昨年度を大きく上回った。
4-5 協働取り組みを継続・活性化するための仕組みづくり	4-5-1	環境関連協働事業数	件/年	17	14	21	22	25			25	16		協働実態調査を廃止したため、データは未集計である。
	4-5-2	意見交換会開催数	回/年	17	2	3	4	2			25	2		協働実態調査を廃止したため、データは未集計である。
	4-5-3	顕彰を受けた主体数	件	17	-	4	6	7	8	8	25	11	😞 ^B	環境政策課、ごみ減量推進課ともになし
	4-5-4	PRを行ったNPO・団体数	件/年	17	5	8	10	10	15	24	25	8	😊 ^S	協働パートナー基金から助成を受けている団体数を計上。今後も増加予定である。
	4-5-5	提案型協働事業採用件数	件/年	17	9	17	7	5			25	-		提案型協働推進事業は平成22年度に廃止、別に公益活動げんき応援助成事業によりNPO団体等を支援している。